

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	肝臓がん患者の出血傾向と TFPI-1 の関連の解析
	研究目的	肝硬変、肝臓がんの患者さんには出血傾向があることが知られ、時に致死的となります。この研究の申請者はこれまでに肝細胞がんの細胞が血液の凝固を阻害する物質(TFPI-1) を分泌していることを見出しました。このことは TFPI-1 が出血を助長する要因の一つとなる可能性を示唆しています。この研究では、健常者血清を対照として、肝臓がん患者さんの血清中の TFPI-1 量を測定して比較検討を行います。また、手術で切除されたがんの解析を行います。臨床における出血に TFPI-1 が関与するかを検証して、より良い患者さんの治療につなげることを目的としています。
	研究対象者	2015 年 1 月～2020 年 12 月の間に当院にて肝臓がんの手術を受けた患者さんのうち、包括的な研究協力の同意を頂いて、研究用血液が保管されている方。(対照とする健常者の血液検体は文部科学省が支援するプラットフォームを通じて別途入手します)
	研究期間	西 暦 2021 年 11 月 22 日 ~ 西 暦 2023 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	小井 詰 史朗
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	臨床研究所がん分子病態学部
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設で の研究責任者	該当しない